
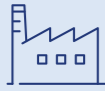






# ノリタケの経営資本

ノリタケグループは創立以来、「事業を通じて社会に貢献する」ことを経営理念の基本に、社会の発展とともに経営資本を蓄積してまいりました。これらの資本を活用し、持続可能な社会の実現と企業価値の継続的な向上を目指します。

 <p>財務資本</p>	<p>強靱な財務健全性</p>	<p>営業キャッシュ・フロー</p> <p><b>22,036</b> 百万円</p>	<p>有利子負債</p> <p><b>2,970</b> 百万円</p> <p>自己資本比率</p> <p><b>72.8%</b></p>
 <p>製造資本</p>	<p>長い歴史の中で育んだ 多様な製品と製造技術</p>	<p>国内製造拠点</p> <p><b>19</b> 拠点</p> <p>海外製造拠点</p> <p><b>12</b> 拠点</p>	<p>設備投資額</p> <p><b>5,404</b> 百万円</p> <p>有形固定資産</p> <p><b>46,415</b> 百万円</p>
 <p>知的資本</p>	<p>セラミックのものづくりで 築き上げてきた 様々な技術やノウハウ</p>	<p>研究開発費</p> <p><b>2,306</b> 百万円</p>	<p>特許保有件数</p> <p><b>725</b> 件</p>
 <p>人的資本</p>	<p>挑戦を促す 組織風土の醸成と 多様な人材の活躍推進</p>	<p>連結従業員数</p> <p><b>4,821</b> 名</p>	<p>女性基幹職数</p> <p><b>23</b> 名</p>
 <p>社会・関係資本</p>	<p>長年にわたる地域社会・ お客様との信頼関係</p>	<p>国内連結子会社</p> <p><b>10</b> 社</p> <p>海外連結子会社</p> <p><b>12</b> 社*</p>	<p>「ノリタケの森」を 介した地域社会 との共生</p>
 <p>自然資本</p>	<p>資源・エネルギーの 効率活用</p>	<p>原材料使用量</p> <p><b>23</b> 万t</p> <p>電気使用量</p> <p><b>106</b> GWh</p>	<p>水使用量</p> <p><b>38</b> 万m<sup>3</sup></p> <p>化学物質使用量</p> <p><b>1,640</b> t</p>

\*2024年3月31日現在 株式取得により、2024年4月18日からSIAM COATED ABRASIVE CO.,LTD.が連結子会社となりました。

Topics		ステークホルダーとのコミュニケーション
<p>ノリタケグループはステークホルダーの皆さまの声を真摯に受け止め、企業活動に繋げ、企業価値の向上を図ってまいります。</p>		
ステークホルダー	コミュニケーションの方法	
お客様	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食器事業部内に「お客様相談室」を設置し、商品・サービスの改善につなげています。</li> <li>● ウェブサイトの「問い合わせ」ページを通じて、ご意見・お問い合わせにお応えする態勢を取っています。</li> </ul>	
お取引先様	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お取引先様と業界の経済環境や動向および当社の調達の見通しなどの情報を共有し、適切な関係の構築、維持を図っています。</li> <li>● エンジニアリング事業部では、定期的にセミナーなどを開催して、労働災害の防止を図っています。</li> </ul>	
株主・投資家	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎年6月下旬に、名古屋市のノリタケ本社で定時株主総会を開催し、株主の皆さまと意見交換しています。</li> <li>● 本決算と第2四半期決算の発表後には、証券アナリストを対象とした決算説明会を開催しています。</li> <li>● 株主や投資家の皆さまが、事業報告書や決算発表資料などのIR情報を容易に入手できるよう、ウェブサイトの充実を図っています。</li> </ul>	
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ノリタケグループ従業員を対象に、会社方針の周知や教育のため、ノリタケグループ社内報「魁」、グローバル社内報「SAKIGAKE」を発行しています。</li> <li>● 本報告書「ノリタケコーポレートレポート」の小冊子を従業員向けに発行し、周知を図っています。</li> <li>● 風土改革の浸透、定着を図るため、社長と社員が直接対話するタウンホールミーティングを開催しています。</li> </ul>	
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ノリタケ本社敷地の一部を「ノリタケの森」として開放しています。小中学校の社会科見学などへ協力、大規模災害発生時の帰宅困難者の一時退避場所となる協定を名古屋市と結んでいます。</li> <li>● 海外からの留学生に対する支援として、愛知県の大学や大学院に通う留学生に宿舎を提供しています。</li> </ul>	